

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	苫小牧市こども通園センターおおぞら園【放課後デイサービス】			
○保護者評価実施期間	令和7年1月28日 ～ 令和7年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日 ～ 令和7年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のスペースを十分に確保し、一人ひとりに合わせた個別の支援が行えてるため、環境・体制整備については保護者からも評価を得ております。	家族と情報を共有し、適切な個別の支援計画書を作成し個別的に寄り添い支援しています。また児童の個々の特性に合わせた環境設定や活動内容を準備し、支援にあたっております。	施設内の安全点検を行い、環境整備を行います。職員の専門性を高めるための研修や勉強会を実施します。活動内容を充実し、さらなる成長を図るため施設内だけではなく公園や図書館、体育館等の社会資源を利用することを検討します。
2	利用児童が安心して通所し、意欲を持ち活動することができています。	保護者や学校などと情報を共有し児童の特性を丁寧に把握しています。	集団活動が苦手な児童には個別のスペースや個別の活動を設けることが必要と考えています。
3	利用児童の活動への参加意欲が高く、保護者からは満足度において評価を得ています。	帰宅送迎時にその日の活動状況や、学校での様子を保護者へ伝えるだけでなく、家庭での様子を伺い、相談などもお受けしながら支援しています。	帰宅時の時間だけでは相談として不十分な場合は、別の機会に時間を設け、対応できるよう検討していきます。
4	肢体不自由児や医療的ケアを必要とする対象児と保護者に適切な指導を行うことができます。	職員は研修などを積極的に行っています。	より高度な情報や技術研修を受け対応の幅を広げることを検討していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催が実施されていません。	各家庭の事情で参加ができる時間帯（平日の夜や週末の時間）を確保することが難しいです。また、児童の預かりが難しいです。	保護者向けの学習会の告知など、保護者への支援を行います。当課へ届いたメール等の情報の中で、保護者に必要な情報は発信します。
2	地域の子児童との交流の機会が持てていません。	利用児童の安全確保を優先するため、地域交流に慎重になっています。	地域のお祭り（当センターのお祭りを含む）やイベントの告知を行います。試行的に少人数で図書館や科学センターへ外出しました。頻度を増やすことができるよう検討していきます。
3	センター全体の避難訓練はありますが、利用児童は参加経験がありません。	聴覚過敏や視覚過敏などでパニックなどを起こしやすく、指示理解や予測できない事項への対応が苦手な方が多いです。	センター全体の避難訓練とは別に、一人ひとりの特性に合わせた独自の避難訓練を行うことを検討します。